

需要抑制計画帳票等について

平成28年10月27日
ネガワット取引に関する実務者会議 事務局

- ✓ これまでのネガワット取引に関する実務者会議では、平成29年4月の直接協議スキームによる取引開始が開始できるよう、必要となるルールや様式の検討を進めてきた。
- ✓ このうち、様式については、第3回実務者会議において事務局より需要抑制計画帳票（案）を提示し、意見照会を行った。
- ✓ 今回は、その結果を反映した需要抑制計画帳票をご確認いただき、承認いただきたい。
- ✓ また、その他の小売事業者への需要抑制計画の通知、需要抑制に関する実績通知項目についても合わせて承認いただきたい。

第3回実務者会議後の意見集約結果を踏まえ、需要抑制計画帳票を以下の様式としたい。

需要抑制計画								
送信者コード		8XXXX						
送信者名称		ネガワット事業者A						
提出先事業者コード		XXXXX						
提出先事業者名称		一般送配電事業者X						
需要抑制計画値	需要抑制BGコード	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要抑制BG名称	抑制1			抑制2		抑制3	
	需要抑制契約識別番号1	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要BGコード(取引先BGコード)	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要BG名称(取引先BG名称)	需要X			需要X		需要X	
	小売事業者コード	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	小売事業者名称	小売1			小売2		小売3	
	優先順位	99			99		1	
	プロラタ内優先順位	1			-		-	
	供給地点特定番号	AAA	BBB	CCC	DDD	EEE	FFF	GGG
	需要抑制契約識別番号2	aaaaaa	bbbbbb	cccccc	dddddd	eeeeee	ffffff	gggggg
	ベースライン(地点毎)	1000	5000	3000	1000	500	2000	4000
	ベースライン(抑制BG計)	9000			3500		4000	
	抑制計画値	200	800	500	100	50	250	600
抑制計画値抑制BG合計	1500			400		600		
抑制計画値抑制契約者合計							2500	

※ ベースライン、抑制計画値は日毎48コマが必要(図中は簡略化のため、省略)

[前回からの修正箇所]

- 記載項目の簡略化

優先順位、プロラタ内優先順位を需要抑制BG単位に記載するよう修正

- 分かりやすさを考慮し用語を修正

契約識別番号1 → 需要抑制契約識別番号1

契約識別番号2 → 需要抑制契約識別番号2

ベースライン(積上げ) → ベースライン(地点毎)

ベースライン(合成) → ベースライン(抑制BG計)

① 需要抑制BG

- ✓ 小売事業者毎、インバランス切り分け方式毎に個別の需要抑制BGとする。
- ✓ インバランスは需要抑制BG単位で計算。

② 供給地点特定番号

- ✓ 供給地点特定番号は、需要者毎に1件ずつ記載が必要。

③ ベースライン（地点毎）

- ✓ 一般送配電事業者がベースラインを評価するために必要。

需要抑制計画帳票 (P.3) を踏まえ、必要となるタグは下表のとおり。

タグ名	データ要素名	説明	共通コード (注1)	使用区分(注2)				属性	繰返し(注3)	
				翌日	週間	月間	年間		番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類を示すコード	○	●	●	●	●	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	○	●	●	●	●	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルの本機関から転送する事業者を示すコード	○	●	●	●	●	X(5)		
JP06359	提出先事業者名称	当該ファイルの本機関から転送する事業者の名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06171	対象期間開始年月日	計画が対象とする期間の開始年月日 YYYYMMDD		●	●	●	●	Y(8)		
JP06234	データ変更コード	M10ループ内の計画変更の有無を示すコード		○	▲	▲	▲	X(1)	M10	999
JP06600	需要抑制BGコード	需要抑制BGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06601	需要抑制BG名称	需要抑制BGの名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06602	需要抑制契約識別番号1	需要抑制契約を識別する番号		○	○	○	○	X(20)		
JP06366	取引先BGコード	取引先のBGを識別するコード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06367	取引先BG名称	取引先のBG名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06316	事業者コード	BGIに所属する事業者コード	○	○	○	○	○	X(5)		
JP06317	事業者名称	BGIに所属する事業者名称		▲	▲	▲	▲	X(50)		
JP06232	優先順位	発電実績値の振り分け順位を示す。		○	—	—	—	9(2)		
JP06233	フロア内優先順位	発電実績値振り分け時のフロア内優先順位の指定		○	—	—	—	9(1)		
JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号		●	●	●	●	X(22)	M11	999
JP06603	需要抑制契約識別番号2	「需要抑制契約識別番号1」の補助番号		▲	▲	▲	▲	X(20)		
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注5)	○(注5)	○(注5)	9(4)	M12	
JP06215	月MM	月MM		—	○(注5)	○(注5)	○(注5)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注4)		—	○(注5)	○(注5)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注5)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注5)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注5)	○(注5)	X(1)		
JP06220	最大最小コード	最大最小の別を示すコード		—	○(注5)	○(注5)	○(注5)	X(1)		
JP06221	最大最小予想時刻	最大最小予想時刻 hhmm		—	○(注5)	—	—	X(4)		
JP06604	ベースライン(地点毎)	ベースライン(kWh)		●	▲	▲	▲	N(9)		
JP06605	抑制計画値(kW)	抑制計画電力(kW)		—	●	●	●	N(9)		
JP06606	抑制計画値(kWh)	抑制計画電力量(kWh)		●	—	—	—	N(9)		
JP06234	データ変更コード	M12ループ内の計画変更の有無を示すコード		○	▲	▲	▲	X(1)	M12	
JP06234	データ変更コード	M11ループ内の計画変更の有無を示すコード		○	▲	▲	▲	X(1)	M11	
JP06214	年YYYY	年YYYY		—	○(注8)	○(注8)	○(注8)	9(4)	M13	
JP06215	月MM	月MM		—	○(注8)	○(注8)	○(注8)	9(2)		
JP06216	週W	週W (注4)		—	○(注8)	○(注8)	—	9(1)		
JP06217	日DD	日DD		—	○(注8)	—	—	9(2)		
JP06219	時刻コード	30分刻みの時間帯を示すコード (01~48)	○	○(注8)	—	—	—	X(2)		
JP06218	平日休日コード	平日休日の別を示すコード	○	—	—	○(注8)	○(注8)	X(1)		
JP06607	ベースライン(抑制BG計)	ベースライン(kWh)		●	▲	▲	▲	N(9)		
JP06608	抑制計画値抑制BG合計	抑制計画値の抑制BG合計(kWh)		●	—	—	—	N(10)		
JP06234	データ変更コード	M13ループ内の計画変更の有無を示すコード		○	▲	▲	▲	X(1)	M13	
JP06609	抑制計画値抑制契約者合計	抑制計画値の抑制契約者合計(kWh)		●	—	—	—	N(10)	M10	

(注1) ○：標準として定める共通コードを示す。
 (注2) ●：必須項目 (空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目)
 ○：必須項目 (空欄不可)
 ▲：任意項目 (項目使用、空欄許容)
 △：任意項目 (項目使用如何・空欄許容如何は当事業者間で取り決め)
 —：未使用項目 (送受信不可)

(注3) M12、M13の繰返し最大回数は対象期間毎により以下のとおり設定する。
 翌日：48=48点/日
 週間：28=2週×7日×2 (最大/最少)
 月間：48=2月×6週×2 (最大/最少)
 年間：96=2年×12月×2 (最大/最少) ×2 (平日/休日)
 (注4) 週間計画の翌週分は“1”、翌々週分は“2”を設定する。
 (注5) 需要抑制契約期間外は空欄とする。

〔前回からの修正箇所〕

- タグ番号を一部修正、追加
JPO6602、抑制計画値 (kW) など
- 年間、月間、週間計画の記載内容を反映
 - 年間 (第1年度、第2年度) : 各月の平日および休日の需要抑制電力の最大値
および最小値
 - 月間 (翌月、翌々月) : 各週の平日および休日の需要抑制電力の最大値
および最小値
 - 週間 (翌週、翌々週) : 日毎の需要抑制電力の最大値と予想時刻
および最小値と予想時刻

〔制約・注意事項〕

- 繰り返し回数は、帳票作成ツール、帳票ファイルサイズ等を考慮し、事務局にて決定させていただきます。

本格運用時は、確定数量スキーム導入時の拡張性を考慮し、需要抑制計画と需要調達計画を一体とした帳票とすることを想定しており、本格運用時は以下のような需要抑制計画となる見込み。

なお、本格運用時の帳票はBP（ビジネスプロトコル）規格として取りまとめ、パブリックコメントを経て制定する見込み。

P.3「需要抑制計画」の内容

需要抑制計画													
送信者コード		8XXXX											
送信者名称		ネガワット事業者A											
提出先事業者コード		XXXXX											
提出先事業者名称		一般送配電事業者X											
需要抑制計画値	需要抑制BGコード	XXXXX			XXXXX			XXXXX					
	需要抑制BG名称	抑制1			抑制2			抑制3					
	需要抑制契約識別番号1	XXXXX			XXXXX			XXXXX					
	需要BGコード(取引先BGコード)	XXXXX			XXXXX			XXXXX					
	需要BG名称(取引先BG名称)	需要X			需要X			需要X					
	小売事業者コード	XXXXX			XXXXX			XXXXX					
	小売事業者名称	小売1			小売2			小売3					
	優先順位	99			99			1					
	プロラタ内優先順位	1			-			-					
	供給地点特定番号	AAA	BBB	CCC	DDD	EEE	FFF	GGG					
	需要抑制契約識別番号2	aaaaaa	bbbbbb	cccccc	dddddd	eeeeee	ffffff	gggggg					
	ベースライン(地点毎)	1000	5000	3000	1000	500	2000	4000					
	ベースライン(抑制BG計)	9000			3500			4000					
	抑制計画値	200	800	500	100	50	250	600					
	抑制計画値抑制BG合計	1500			400			600					
抑制計画値抑制契約者合計							2500						
販売計画内訳	取引先BG名	需要5			需要6			調達計画 内訳	取引先BG名称	取引所	抑制1	抑制2	抑制3
	取引先エリア名称	エリアY			エリアZ				取引先エリア名称	スポット	エリアX	エリアX	エリアX
	販売量(確定)	1000			1700				調達量	200	1500	400	600
	販売量(未確定)	0			0				予備力	0	0	0	0
取引計画	販売/調達量(確定)計												2700
	販売量(未確定)/予備力計												0

既存「需要調達計画」の内容

将来のBP化を見据え、需要抑制計画をW8として新たに定義する。

BPID 副機関コード	意味	コード	意味
W1	(旧規格)同時同量支援業務		
W2	発電計画等受領業務	0110	翌日発電計画
		0120	週間発電計画
		0130	月間発電計画
		0140	年間発電計画
		0210	翌日需給計画
		0220	週間需給計画
		0230	月間需給計画
		0240	年間需給計画
		0310	連系線等希望計画
		0410	翌日連系線等利用計画
		0420	週間連系線等利用計画
		0430	月間連系線等利用計画
		0440	年間連系線等利用計画
		0450	長期連系線等利用計画
W4	30分電力量提供業務	0110	特高・高圧30分電力量メッセージ
		0120	特高・高圧日毎30分電力量メッセージ
		1110	低圧30分電力量メッセージ
		1120	低圧日毎30分電力量メッセージ
W5	確定使用量の通知業務	1210	特高・高圧月間確定使用量メッセージ
		1220	低圧月間確定使用量メッセージ
		1310	特高・高圧計量器取替メッセージ
		1320	低圧計量器取替メッセージ
		1410	特高・高圧臨時検針他メッセージ
		1420	低圧臨時検針他メッセージ
W6	発電計画等受領業務 (計画値同時同量編)	0110	翌日発電計画
		0120	週間発電計画
		0130	月間発電計画
		0140	年間発電計画
		0150	翌日発電・販売計画
		0151	翌日発電・販売計画不整合通知メッセージ
		0152	翌日発電・販売計画 (FIT作成年)
		0160	週間発電・販売計画
		0170	月間発電・販売計画
		0180	年間発電・販売計画
		0210	翌日需給計画
		0220	週間需給計画
		0230	月間需給計画
		0240	年間需給計画
		0250	翌日需要・調達計画
		0251	翌日需要・調達計画不整合通知メッセージ
		0260	週間需要・調達計画
		0270	月間需要・調達計画
		0280	年間需要・調達計画
		0310	連系線等希望計画
		0311	希望計画送電可否判定結果通知
		0320	連系線希望計画 (計画値同時同量)
		0321	希望計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)

BPID 副機関コード	意味	コード	意味
W6	発電計画等受領業務 (計画値同時同量編)	0400	長期連系線利用計画 (計画値同時同量)
		0401	長期利用計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0403	長期連系線利用計画提出シミュレーション
		0404	長期利用計画送電可否判定シミュレーション結果通知
		0410	翌日連系線等利用計画
		0411	翌日利用計画送電可否判定結果通知
		0412	通告変更可否判定結果通知
		0420	週間連系線等利用計画
		0421	週間利用計画送電可否判定結果通知
		0422	週間利用計画策定結果通知
		0430	月間連系線等利用計画
		0431	月間利用計画送電可否判定結果通知
		0432	月間利用計画策定結果通知
		0440	年間連系線等利用計画
		0441	年間利用計画送電可否判定結果通知
		0442	年間利用計画策定結果通知
		0450	長期連系線等利用計画
		0451	長期利用計画送電可否判定結果通知
		0452	長期利用計画策定結果通知
		0460	翌日連系線利用計画 (計画値同時同量)
		0461	翌日利用計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0462	通告変更可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0463	翌日連系線利用計画提出シミュレーション
		0464	通告変更可否判定シミュレーション結果通知
		0470	週間連系線利用計画 (計画値同時同量)
		0471	週間利用計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0473	週間連系線利用計画提出シミュレーション
		0474	週間利用計画送電可否判定シミュレーション結果通知
		0480	月間連系線利用計画 (計画値同時同量)
		0481	月間利用計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0483	月間連系線利用計画提出シミュレーション
		0484	月間利用計画送電可否判定シミュレーション結果通知
		0490	年間連系線利用計画 (計画値同時同量)
		0491	年間利用計画送電可否判定結果通知 (計画値同時同量)
		0493	年間連系線利用計画提出シミュレーション
		0494	年間利用計画送電可否判定シミュレーション結果通知
		0511	混雑処理通知 (翌日)
		0512	混雑処理通知 (通告変更)
		0513	混雑処理通知 (翌日) (計画値同時同量)
		0514	混雑処理通知 (通告変更) (計画値同時同量)
		0521	混雑処理通知 (週間)
		0522	混雑処理通知 (週間) (計画値同時同量)
		0531	混雑処理通知 (月間)
		0532	混雑処理通知 (月間) (計画値同時同量)
		0541	混雑処理通知 (年間)
		0542	混雑処理通知 (年間) (計画値同時同量)
		0551	混雑処理通知 (長期)
		0552	混雑処理通知 (長期) (計画値同時同量)
		0610	部分供給通告値 (翌日)
		0620	部分供給通告値 (月間)

BPID 副機関コード	意味	コード	意味
W7	同時同量・エリアインバランス業務関係	0210	エリアインバランス速報メッセージ
		0220	エリアインバランス確報メッセージ
		0230	調整項・市場価格速報メッセージ
		0240	調整項・市場価格確報メッセージ
		0310	同時同量監視時報
		0320	同時同量監視日報
		0330	同時同量監視月報
W8	需要抑制計画(直接協議)	0110	翌日需要抑制計画
		0120	週間需要抑制計画
		0130	月間需要抑制計画
		0140	年間需要抑制計画

将来のBP化を見据え、メッセージファイル名称等は以下のとおりとする。

需要抑制計画ファイル

BPID 副機関コード	情報区分 コード	対象時期の 開始日	更新 番号	分割 番号	送信者 コード	受信者コード 下一桁	当日仕上がり最終値 フラグ・分割総数
----------------	-------------	--------------	----------	----------	------------	---------------	-----------------------

各項目の内容

項目	属性 (バイト数)	内容
BPID副機関コード	X(2)	“W8” 固定
情報区分コード	X(4)	“0110” 翌日需要抑制計画 “0120” 週間需要抑制計画 “0130” 月間需要抑制計画 “0140” 年間需要抑制計画
対象時期の開始日	Y(8)	当該メッセージが対象とする時期の開始年月日（YYYYMMDD）を設定
更新番号	9(2)	初期番号は“00” 更新するファイル毎に“01”から順に昇順に付与
分割番号	9(2)	初期番号は“00” 分割するファイル毎に“01”から順に昇順に付与
送信者コード	X(5)	ファイルを送信する事業者を示すコード
受信者コード下一桁	X(1)	ファイルを受信する事業者を示すコードの下一桁
当日仕上がり最終値フラグ・分割総数	9(2)	当日仕上がり最終値の場合ファイル分割の総数とし、分割が無い場合は“01”当日最終値以外の場合NULLとする。

他の取引スキームについては、

- ・確定数量スキームは 02XX
- ・第3者仲介スキームは03XX

等と定義を追加していくことを想定

現在のBPの運用を踏襲し、以下のとおりとしてはどうか。

メッセージの変更・取消の運用

メッセージ内のキー項目以外のデータ要素値を変更する場合は、当該データ要素値を変更後、変更前のメッセージファイル名のうち更新番号のみを更新したメッセージファイルを作成し、変更前のメッセージファイルを置き換える。キー項目は、メッセージを特定する項目であり、各ビジネスプロトコル標準規格の標準メッセージにて定義される。

なお、キー項目のデータ要素値を変更する方法及びメッセージを取り消す方法は規定しない。

メッセージの分割

メッセージファイルを適切なサイズとするために、各ビジネスプロトコル標準規格の基準に従いメッセージを分割する。

メッセージを分割する場合は、「構文規則」に従って同一のキー項目値をもつメッセージを作成するとともに、当該メッセージファイル名に分割番号を定め、昇順に付与する。

メッセージの圧縮

メッセージファイルは、zip形式で圧縮する。なお、分割している場合は、物理的なメッセージファイル毎に圧縮を行う。

（圧縮後）メッセージファイル名 = 拡張子(.xml)を含めないメッセージファイル名 . zip

未受信への対応

受信者の未受信を回避するための督促や障害連絡方法については規定しない。

二重受信への対応

受信者の再取込等により発生する二重受信は、“ファイル名”と“ファイルサイズ”により判断し、受信者の責任で処置する。

送信者への受信結果の報告

送信者から受信者への受信結果の報告は行わない。ファイルの受信に失敗した場合に、再度受信処理を行うか否かは送信者側で判断する。

以下の理由から、これまでの1事業者＝1事業者コードの原則を見直し、ネガワット事業を行うすべての事業者に、新たに“**8**”から始まる事業者コードを付与する。（同一事業者が小売事業とネガワット事業を行う場合は、“4XXXX”と“8XXXX”の2つの事業者コードを持ち、ネガワット業務では、“8XXXX”の事業者コードを利用する。）

- ✓ 一般送配電事業者のシステム改修への影響度
- ✓ 事業者コード取得済み事業者がネガワット事業を行う場合、需要調達計画などのファイル名が重複する等の課題がある
- ✓ 事業者コード取得済み事業者がネガワット事業を行う場合、一般送配電事業者が提供する30分電力量や確定使用量の通知が困難となる

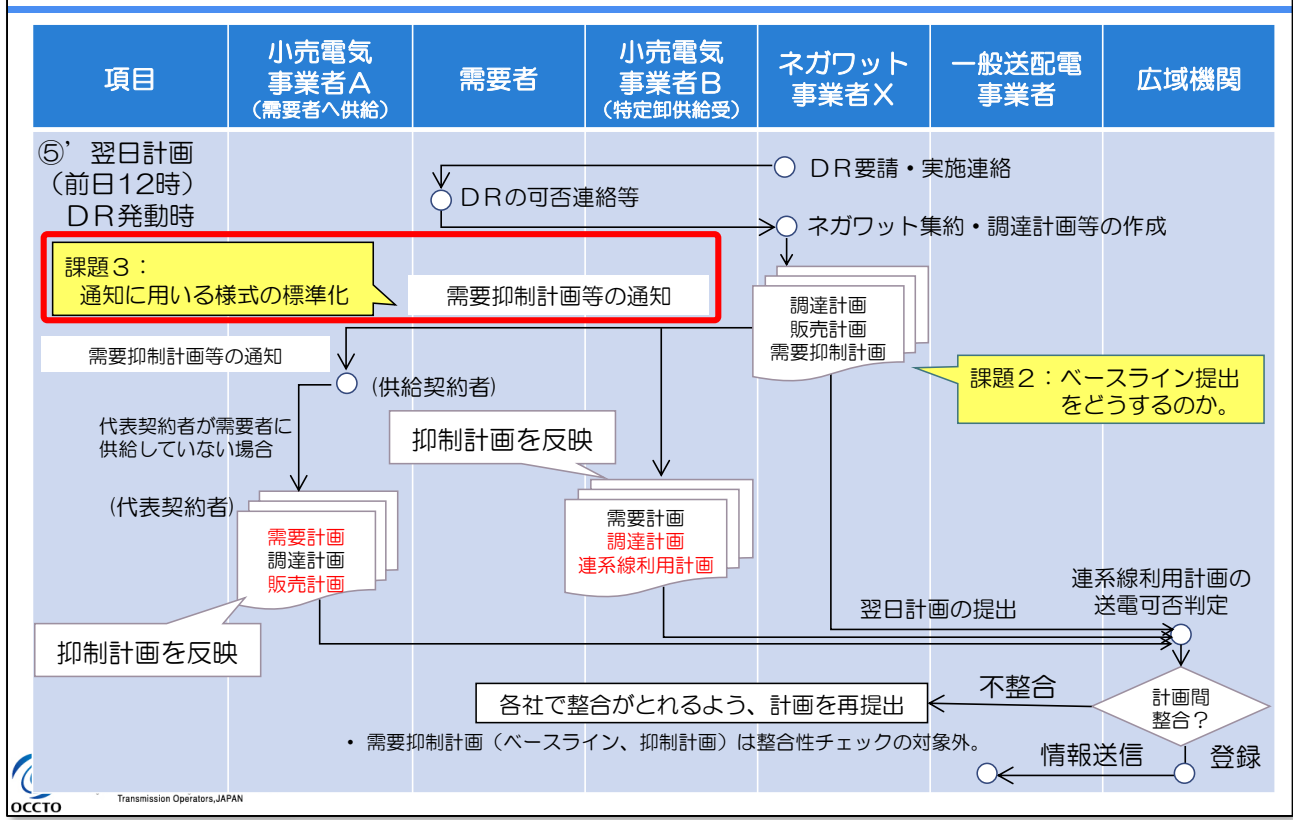
〔前回からの修正点〕

- 事業者コード取得済の小売事業者等がネガワット事業を行う際には、新たに事業者コードの取得が必要となる。
- 上記により、広域機関システムへの接続に必要な電子証明書等も新たに購入いただく必要が生じる

ネガワットの発動にあたって、ネガワット事業者Xは抑制計画値を需要抑制対象となる需要家へ電気を供給している小売電気事業者Aへ通知する必要がある。
 （通知を受けた小売事業者Aは、需要・販売計画を修正し、広域機関へ提出する。）

第3回実務者会議
資料より抜粋

直接協議スキームにおけるネガワット取引業務フロー（案）



ネガワット事業者Xから小売事業者Aへ通知する内容は需要抑制計画に含まれる内容（下図・帳票赤枠部分）とする。通知ファイル名などは事務局にて決定する。

ネガワット事業者Xが小売事業者Aへ通知する内容

帳票作成支援ツール（広域機関作成）からコピー可能にする等の工夫を行う。

需要抑制計画								
送信者コード	8XXXX							
送信者名称	ネガワット事業者X							
提出先事業者コード	XXXXX							
提出先事業者名称	一般送配電事業者X							
需要抑制計画値	需要抑制BGコード	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要抑制BG名称	抑制1			抑制2		抑制3	
	需要抑制契約識別番号1	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要BGコード(取引先BGコード)	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	需要BG名称(取引先BG名称)	需要X			需要X		需要X	
	小売事業者コード	XXXXX			XXXXX		XXXXX	
	小売事業者名称	小売事業者A			小売事業者C		小売事業者D	
	優先順位	99			99		1	
	プロラタ内優先順位	1			-		-	
	供給地点特定番号	AAA	BBB	CCC	DDD	EEE	FFF	GGG
	需要抑制契約識別番号2	aaaaaa	bbbbbb	cccccc	dddddd	eeeeee	fffff	ggggg
	ベースライン(地点毎)	1000	5000	3000	1000	500	2000	4000
	ベースライン(抑制BG計)	9000			3500		4000	
	抑制計画値	200	800	500	100	50	250	600
	抑制計画値抑制BG合計	1500			400		600	
抑制計画値抑制契約者合計						2500		

小売事業者A

- ✓ 一般送配電事業者各社と需要抑制結果の実績通知様式の統一について調査を行った結果、システム開発の期間が限られている、会社によってはパッケージソフトを使用していることなどから様式を統一することは困難な状況である。
- ✓ 通知項目については、通知を必須とする項目を共通化すること、様式については、既存インバランス帳票と親和性が高い様式とすることでいかがか。

第3回実務者会議
資料より抜粋

直接協議スキームの業務フローをもとに考えた課題 4 / 4

課題4：一般送配電事業者 → ネガワット事業者への実績通知も、標準化を図るべきではないか。

ネガワット事業者ヒアリングでのご意見

- 帳票でインバランス精算の根拠となる数値がわかれば良く、根拠となる数値には、ネガワット事業者から提出した最終の計画値も含めていただきたい。
- 一般送配電事業者のうち、いずれかの既存のインバランス帳票と同じ様式を希望する。全く新しい帳票はやめていただきたい。
- 既存のインバランス帳票は一般送配電事業者ごとで開示いただける情報に差があるため、情報開示量が多い方に記載内容を合わせて統一いただきたい。
- 通知タイミングは、今の電力量実績の通知タイミングやインバランス精算のタイミングと同じで問題ない。
- 一般送配電事業者にて計量された需要者の需要実績をいただきたい。

また、需要抑制計画のインバランス帳票に記載いただきたい項目として、具体的には以下が挙げられた。

- ① 提出したベースライン
- ② 実績電力量
- ③ 損失率で割戻したベースライン
- ④ 損失率で割戻した実績電力量
- ⑤ 不足インバランス量
- ⑥ 余剰インバランス量
- ⑦ インバランス単価
- ⑧ 不足インバランス料金
- ⑨ 余剰インバランス料金（ただし、p9にて事務局回答案のとおり、① = ③ とする場合、③ は省略か。）

ヒアリングでの意見を受け、以下としてはいかがか。

- ・ ネガワットに関わる需要者の需要実績は、各一般送配電事業者の既存帳票を用いてデータ提供する。
- ・ 新たに作成する需要抑制計画のインバランス精算帳票は、本会議にて挙げられた要望を踏まえ、広域機関と一般送配電事業者にて案を検討し、次回の本会議にてその案を確認する。

- ✓ 通知を必須とする項目は以下のとおりととしてはどうか。

提出したベースライン、実績電力量、損失率で割戻しした実績電力量、不足インバランス量、余剰インバランス量、インバランス単価、不足インバランス料金、余剰インバランス料金、抑制計画値※

（※ 抑制計画値は、需要抑制計画提出用掲示板の最終計画を適用する）

契約情報等の特定のために通知する方がよいと考える項目

通知項目（案）	提供単位
需要抑制BGコード	需要抑制BG毎
需要抑制BG名称	
需要BGコード	
小売事業者コード	
小売事業者名称	
インバランス切分方式	

必須と考える項目

通知項目（案）	提供単位
（提出した）ベースライン	需要抑制BG毎 日毎・48コマ
需要抑制量調整受電計画電力量（抑制計画値）	
接続供給電力量（実績電力量）	
接続対象電力量（損失率で割戻しした実績電力量）	
需要抑制量調整受電計画差対応補給電力量（不足インバランス量）	
需要抑制量調整受電計画差対応補給電力量（余剰インバランス量）	
インバランス単価	需要抑制量調整 契約毎・需要抑制BG毎など複数のパターンが考えられる
需要抑制量調整受電計画差対応補給電力料金（不足インバランス料金）	
需要抑制量調整受電計画差対応余剰電力料金（余剰インバランス料金）	

※ 通知項目名は約款記載の用語と整合を取る。括弧書きは、本文中の語句と整合を取るための補足。

以 上